

## 令和5年度 第3回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年5月8日（月） 15時00分から17時00分まで

開催場所：A203-204会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、清水産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## ＜市長＞

- ・本日から新型コロナウイルス感染症の法律上の扱いが変わる。4月19日の飯田市新型コロナウイルス感染症対策本部会議で対応を確認しているの、それに基づいた対応をお願いしたい。
- ・この地域は、感染警戒レベル3に設定をされているが、本日から感染警戒レベルという考え方自体がなくなる。感染者数が他地域に比べて多いのは、検査体制がしっかりしているの、数が上がっていると思われる。感染者の年齢の内訳を見ると、高齢者にシフトしてきている。若い人たちは相当程度罹患し、集団免疫があると思われるが、ご高齢の皆さんは、注意・警戒をしてきたおかげで、罹っていない人が多く、これからもご高齢の方の感染が心配される状況が続く。市民の皆さんと話す機会が多くなると思うが、引き続きご高齢の方は気をつけていただくよう、折に触れて啓発していただきたい。
- ・連休中には多くのイベントがあった。オケ友は非常に良い音楽祭だった。飯田動物園70周年の記念イベントには、子どもたちも含めて、非常に大勢の皆さんにご出席いただいた。
- ・5月に入り、連休明け。4月の異動により、職場環境が変わった人も大勢いる。各課長へも職員の皆さんの様子に気を配るように話をしていただきたい。体調を崩したり、様子が気になるという職員がいれば、まずは声掛けをするなど、目配りをしていただきたい。

## ＜副市長＞

- ・市議会第1回臨時会で正副議長及び各委員会の構成が変更され、新しい構成で管内視察が行われる。5月末には新しい体制で第2回定例会が開会される。
- ・新しい体制の議員としっかり議論ができる関係性を築くためには、部局長として、課題認識を持ち、情報をオープンにし、その情報についての自分としての考えを説明できるようにすることが大事。説明すべきことはきちんと説明し、しっかりこちらの立場を伝えること。

## ＜教育長＞

- ・学校教育では主体性を非常に大事にしている。最近は殊更に学習指導要領でも言われている。
- ・オケ友の名曲コンサートの中で、中学生がトランペッターとして堂々と素晴らしい演奏をした。本人にどのくらい練習しているか尋ねたところ、「そんなに練習していない。1時間ちょっとです。」という回答だった。プロになるような子はメリハリがある。自分自身の自己肯定感を持って子どもたちに育ってほしいと思うとともに、主体性とは何か改めて考える機会となった。
- ・職員が主体性を持って仕事をするので、とても大きな力になると感じた。

## 2 報告事項

## (1) 令和5年飯田市議会第2回定例会の付議案件について

## ◇趣旨

- ・令和5年飯田市議会第2回定例会の付議案件について報告する。

◇意見

(市長)

- ・専決処分<sup>1</sup>の報告について、今年は臨時会があるという特殊な年であるが、直近の議会に報告するにあたって、専決処分日との関係性を確認すること。

(総務文書課長)

- ・告示日との関係やこれまでの議会での運用の状況を参考として、報告案件の対応をしているところ。

(市長)

- ・こども家庭庁の設置に伴う案件を含めて、施行日と専決に関する関係性等の整理をすること。

(総務文書課長)

- ・税に関する案件のように市民の権利や義務に直接影響があるものについては、専決処分をしている。大臣名の変更のように読み替えることができる内容の案件や市民に直接影響がないものについては、専決処分は必要最小限とする観点から、議決を得ることとしてきている。

(2) 令和4年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書について

◇趣旨

- ・令和4年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書について報告する。

(3) 令和5年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案について

◇趣旨

- ・令和5年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案について報告する。

(健康福祉部長)

- ・「低所得世帯への生活応援給付金の給付による生活支援」について、県の動向を注視している部分があるので申し伝えておく。

◇意見

(産業経済部参事)

- ・「エネルギーコスト削減促進事業補助金交付によるエネルギー構造転換支援」について、中小企業への支援を企図している点を考慮すると、「サプライチェーンのゼロカーボン化」という言葉に違和感がある。

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・サプライチェーンという表現の中には、小企業から大企業までゼロカーボン化していきたいという思いで書いたが、分かりづらいとすると表現を工夫する。

(4) 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の県協議及び第2回定例会への議案提出について

◇趣旨

- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の県協議及び第2回定例会への議案提出について報告する。

(5) 令和5年度市長と語るまちづくり懇談会の実施にあたって

◇趣旨

- ・令和5年度市長と語るまちづくり懇談会の実施にあたって報告する。

(上下水道局長)

- ・市長と語るまちづくり懇談会において、水道事業の状況と料金改定の内容について説明させていただく。

◇意見

(企画部長)

- ・昨年度の懇談会において、課題となった案件は「進捗状況確認シート」で管理されており、2月に進捗状況がリバイスされている。それを今度開催する時に事前に市長に説明をするということだが、説明は所長がするのか。

(地域自治振興課長)

- ・説明は所長がする。

- ・2月にリバイスをかけてから進捗しているものについては、各担当部局等の責任において、修正等をして

いただきたい。

(企画部長)

- ・懇談会当日、市長が後日回答するとした案件は各地区から出された要望に含まれるか。(地域自治振興課長)
- ・含まれる。様式の中で整理されている。

#### (6) 第6次飯田市男女共同参画計画の実施状況報告について

##### ◇趣旨

- ・第6次飯田市男女共同参画計画の実施状況報告について報告する。

##### ◇意見

(総務部長)

- ・表現の統一、フォントカラーなど見やすい資料となるよう工夫すること。(企画部長)
- ・項目により、内容の厚みがまちまちである。肉付けすべきところは、きちんと明記しておくこと。(健康福祉部長)
- ・委員会協議会へ出していく時には、根拠の数字を資料に入れた方がいい。(会計管理者)
- ・今後の課題の中にある「弱い立場にある女性」という表現は、誤解を招く恐れがある表現であり、再考すること。

#### (7) 令和4年度飯田市多文化共生社会推進計画の実施状況報告について

##### ◇趣旨

- ・令和4年度飯田市多文化共生社会推進計画の実施状況報告について報告する。

#### (8) 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク実行計画について

##### ◇趣旨

- ・南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク実行計画について報告する。

#### (9) 飯田市住生活基本計画の見直し（一部改訂）について

##### ◇趣旨

- ・飯田市住生活基本計画の見直し（一部改訂）について報告する。

#### (10) 市民の意識に関する基礎世論調査の集計概要について

##### ◇趣旨

- ・市民の意識に関する基礎世論調査の集計概要について報告する。

##### ◇意見

(議会事務局長)

- ・市役所全体に関わる調査結果への対応については、どの部署がどのように対処していくのか、しっかり検討する必要がある。(企画部長)
- ・基本的には企画部で見ていくが、それぞれの所管で影響が大きいようなところがあれば、対応していただきたい。また、全員協議会での報告に向け、それぞれにご準備をいただきたい。

#### (11) 令和4年度ふるさと飯田応援隊募集事業実績報告について

##### ◇趣旨

- ・令和4年度ふるさと飯田応援隊募集事業実績報告について報告する。

##### ◇意見

(市長)

- ・返礼品申込実績のその他返礼品辞退等の件数が増えているが、金額は減っている。結果をどう分析しているか。

(広報ブランド推進課長)

- ・クラウドファンディング型ふるさと納税が含まれているため、件数が増えているが、金額は減っている。

#### (12) 5月26日飯田市議会全員協議会報告事項について

##### ◇趣旨

- ・5月26日飯田市議会全員協議会報告事項について報告する。

### 3 その他、連絡事項

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・令和4年度の事業の実施実績について議会の協議会で報告する案件が説明されたが、その内容は、行政評価における令和4年度小戦略の振り返りと重複する部分もある。
- ・6月議会で、分野別計画の単なるアウトプットを報告する意図であれば、行政評価の際の振り返りの場では、アウトカムについての報告となるよう、報告の意図を明確にして進めるべきと考える。

(企画部長)

- ・今回は、行政評価の一環としてではなく、その規定に基づき実施状況を報告するものである。行政評価としては、その中から分野別計画の中の戦略計画に位置付けており、評価をしていく。事務事業と小戦略と戦略計画の3本が連携しながら、評価になっていく。そこを意識して振り返りをさせていただくことになる。

### 4 閉会